



Nicole BMW *Shuten-dohji*

ニュースリリース

2011年6月3日

Saito Challenge 8 (東京 & ホノルル)

日本人ヨットマン齋藤実(77歳)、33ヶ月間にわたるエピックな世界一周 において、「最後」の出発をした。

ホノルル、ハワイ — ギネスブックの世界記録保持者、齋藤実(77歳)はハワイの11ヶ月間の修理・ストップオーバー後、2011年5月26日(木)に出港した。単独世界一周の残りの横浜までの3,700マイルをNicole BMW Shuten-Dohji IIIという56フィートのスチールの船に乗って5週間以内に成し遂げるつもり。

2008年10月に横浜から出発し、今まで27,000海里以上帆走した。南アフリカ、嵐のホーン岬を通過する2回の試みで、彼の船は失敗し、そして3回目の試みで成功した。

去年の6月に、ハワイから出発したときは、結局、船が文字通り崩壊しつつあったため、緊急牽引で終わり、1,000マイルのUターンになってしまった。船具、マスト、エンジン、帆やワイヤリングのトラブルはその時以来、ホノルルのフェロ—船員によるボランティアや、スポンサー、プライベートな支援者のお陰で解決できた。

単独ヨットマンは2010年2月にチリを出発し、世界で最も南にある punta・アレナスという町で、修理のためや、陰しい冬の終わりを待つため、9ヶ月間も旅を延期せざるを得なくなった。そして、出発の23日間後、歴史上4番目となる強い地震は、齋藤さんが船の電池充電システムを修理するためにいた小さな港町から200マイル離れたところで発生した。

そして、さらに強い3・11の東日本大震災は齋藤さんがいたホノルルのマリーナに渦巻く津波を送り込んだ。桟橋に付いている船は海に飲み込まれ、近隣のマリーナから



Nicole BMW *Shuten-dohji*

膨大なダメージのレポートがあった。死亡者はいなかったが、ダメージは数百万ドルと思われる。

ハワイのボランティアからできた、斎藤さんのシーサイドクルーによると、斎藤さんは元気で、横浜に6月に到着すれば、ほぼ3年間になってしまったことにも関わらず、出発を待ち望んだ。最初は世界一周が9ヶ月間かかると思われていた。

スキッパーにとって、旅の身体における負担は大きかった：プンタ・アレナスでお腹の緊急手術を受け、落ちてしまったハッチによって、右腕に15cmの切り傷を覆い、混み合った漁船港でほかの船にバッシングされながら、暖房と給水のない船で9ヶ月間を過し、チリの非常に寒い冬に遭った。2011年10月に、ハワイで斎藤さんは横断歩道を渡るとき、車に轢かれ、手術と膝装具を要する傷を膝に覆った。警察の判断によると、ドライバーのミスだった。

6月に帰国した時点で、斎藤さんの年齢は77歳7ヵ月で、エピックな27,000マイルの、単独無寄港世界一周最高齢者としての記録を確保する旅を終わらせる。斎藤さんは一番多くの世界一周(8回)と最高齢者(77歳)の記録と、西回りを完成した最高齢者の記録を残せる。彼はギネス・ワールド・レコーズ社にて「単独無寄港世界一周最高齢者(71歳)」として既に記録されている。

毎日のアップデートは以下のリンクにて

<http://saito8.blogspot.com/> (英語)

<http://www.nicole.co.jp/challenge8/index.html> (日本語)



Nicole BMW *Shuten-dohji*

